

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成19年8月2日（木）

と ころ：スイトピアセンター 学習館4階 まちづくりボランティア室2

対話団体：大垣夢ある女性の会（12名）

対話テーマ：これからの市民団体・活動（女性団体）が望まれていること



【対話内容】

【会員】

活動スローガンを「あなたが輝くとき まちが輝く」としており、非常に意義深い言葉になっています。

さまざまな生活スタイル、さまざまな職種の方が参加してもらえる団体として発展しています。

しかし、近年は、社会経済情勢の急速な変化の中、会員の減少、長期展望が持てないなどの課題があります。

【小川市長】

活動スローガンは、「かがやきライフタウン構想」に合った内容となっており、すばらしいですね。

5つの広場を持って活動しておられ、幅広い活動内容となっていますが、かえって、焦点が絞れていないのかもしれませんが。

大垣夢ある女性の会の皆さんは、男女共同参画推進の中心となっていただく団体であり、今後とも頑張っていたいただきたいと思います。

実際の男女共同参画推進の取り組みとしては、企業の労働関係制度に関わる部分が多いですが、それ以外の、社会活動のなかでの取り組みをお願いします。

【会員】

夫の転勤の関係で大垣に住むようになり、大垣が良いまちで、大好きになり、定住し、今日に至っています。

一生住みたいと思えるまちづくり、ぬくもりのあるまちづくりに取り組んでいきたいです。

地域で行事を行う際に、何をやろうか話し合いをした結果、防災、地震をテーマとした会合をやることになり、まちづくり出前講座を利用することにしました。

【小川市長】

第五次総合計画の関係でアンケートをとったところ、防災、地震対策が一番希望が多かった。

現在、学校の耐震化を積極的に進めたり、民間住宅の耐震化に対する補助などの取り組みを進めているところです。

公共施設の耐震化を進めているところではありますが、新潟県中越沖地震などを見て、実際に地震が発生した場合を考えると、民間住宅などの民間施設の耐震化も必要になると感じています。

【会員】

大垣市は、水が豊富で、美味しいですね。

防災時には、水の供給が非常に大切になっています。

指定の避難場所がどこなのかが分かりにくいです。

近年、市内に大規模商業施設が多く開業しており、犯罪の増加が気になっています。

また、そうした大規模商業施設で夜遅くに、小学校に行っていると思われる子供を連れた親さんを見かけ、疑問を感じています。

私達が子育てをしていたときは、考えられませんでした。

「子育て日本一のまちづくり」に力を入れているとのことでしたが、子育てに力を入れるということは、他が手薄にならないか心配です。

【小川市長】

避難所の件につきましては、今度、防災のハザードマップを作成する予定でいます。水については、確かに、災害時には非常に大切です。

大垣には井戸が多くあり、深い井戸は、地震発生の際にも強いと思います。

また、まちづくりを進めるうえで、井戸を掘ってはどうかとの提案もあります。

子育て支援に力を入れることにより、他が手薄にならないかということについては、近年、公債費が減り、財政的な負担が軽くなってきていることなどにより、予算的な余裕も出てきています。

【小川市長】

小学校3年生からの英語教育についてはどのように感じますか。

英語と日本語は発音が異なるので、小さいときから、英語に親しんでもらいたいと思っています。

【会員】

AETの皆さんも、先生達も慣れてきて、連携が図れるなど、良くなってきていると思います。

英語については、教育なのか、遊びなのか、判断がむずかしいところです。

親さんの間でも、意識が異なっています。

大垣市のことや正しい日本語を覚えることの方が重要ではないかとも思います。

【会員】

防災ボランティアや支援団体も必要ですが、今後は、地域で子育て支援に取り組む組織が大切ではないかと思います。

育児に関してどうして良いか分からない母親が多く、若い母親を支える組織、相談をする場所などが必要です。

どこに行けば良いかなどの情報もわからない人も多いですね。

昔は考えられなかったですが、今は、交流の場を用意しないと地域での交流ができない親さんが増えています。

いずれにしても、市の協力、支援、相談無しでは進めることはできません。

かがやきライフタウン構想の推進の中でどのように考えていますか。

【小川市長】

先日開催した安井地区センターでの子育てサロンは、大盛況だったようです。

乳幼児医療費補助等の経済的な支援だけでなく、ソフト面の支援に対する需要もあることがわかりました。

全市的に、さまざまな支援の取組を進めていきたいと思います。

子育てサロンは今後とも増やしていきたいと思います。

経済的支援だけでなく、ソフト面の良いアイデアがあればお願いします。

「子育て日本一のまちづくり」を掲げているので、大垣ならではの子育て支援策を推進していきたいと思います。

かがやきライフタウン構想のなかで、現在は、防災、防犯、緑化などの分野が積極的に取り組まれています。子育て支援に関する取組を推進していきたいと思います。

皆さんには、先輩として、ボランティアとして若い母親の皆さんにアドバイスをしたいと思っています。

【会員】

ブラジルの子供が地域にたくさんいます。

交流をしたいと思いますが、親さんが日本語が不便だとなかなか交流が進まないのが現実です。成績表をもらっても理解できないことがあります。

近年、地球温暖化で気温が上昇していますが、扇風機も無い教室があります。

学校によっては、PTAの寄附により設置した学校もあります。

【小川市長】

確かに、熱いと勉強していても頭に入らないですね。

【会員】

以前は、公園デビューなどと言われましたが、このところ、公園をみても親子の姿が少ないように思います。

家に閉じこもって子育てをする親が増えているのではないのでしょうか。

公園も、遊具が危ないので遊ばせることができないとか、不審者が心配であったり
で利用しにくいこともあります。

場合によっては、何も無い原っぱのような公園の方がよいかもしれません。

【小川市長】

花と緑を増やす目的だけでなく、子育て支援の意味でも都市公園の整備を進めてい
ますが、利用者が思ったように増えていないようです。

【会員】

最近、不審者が多いようです。

何かよい対策はないのでしょうか。

小学生の登下校の時間は、比較的ボランティアの皆さんに活動いただいているよう
ですが、中学生、高校生の部活動帰りの時間は、あまりありません。

自転車置き場のスペースの問題や、交通事故の危険性の問題もあるかもしれませんが、
こういったことは、早い対応が必要だと思います。

【小川市長】

集団で下校しても、最後は一人になってしまいます。

さわやかパトロールなど、防犯対策を推進し、犯罪発生件数は、減少してきていま
す。

ウォーキングなどのついでにパトロールをするなど、地域でのパトロール活動は、
効果がありますね。

【会員】

4ヶ月検診の際に絵本がもらえることに喜んでいる親さんが多いです。

ただ、複数の子供の親さんの場合、「その絵本は前もらいました」と言われること
があります。

推奨される絵本に限りがあったり、コストの問題でなかなか難しいかもしれませんが、
種類が変わるといいですね。

【小川市長】

2年くらいで絵本を切り替えると良いですね。